



平成 25 年 10 月 吉日

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10
株式会社 杏林舎
代表取締役社長 渡邊 一正
TEL:03-3910-4311 FAX:03-3949-0230

お客様 各位

第 15 回図書館総合展 フォーラム 「学術ジャーナルの質と価値の向上を考える」開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では創業以来、学術に特化した編集・印刷サービスの提供により、学協会様の学術ジャーナル出版のお手伝いを生業として成長してまいりました。オンラインジャーナルにつきましてもいち早く着手し、現在 JATS に準拠した XML による学術ジャーナルに関する各種サービスを展開しております。学術論文の投稿・査読のオンライン化につきましても、トムソン・ロイター社が提供するオンライン投稿・査読システム「ScholarOne Manuscripts」の日本総代理店として、2005 年よりサービスを提供しております。

最近では、世界科学雑誌編集会議 (CSE) 等のカンファレンスへの参加、海外の大手学術出版社がリリースする情報の翻訳等を通して、学術情報の収集と発信にいつそう努めております。その一環として、トムソン・ロイター社が学協会・学術出版社を対象に発行した欧文白書「学術論文ピアレビューの質・迅速性の向上をめざして」を杏林舎が独自に翻訳し、冊子化したものを同封いたしております。ぜひご一読ください。

こうして蓄積した情報と知識を共有することで、学術ジャーナルの質と価値の向上に寄与いたしたく、来る 10 月 29 日 (火) より開催されます第 15 回図書館総合展において「学術ジャーナルの質と価値の向上を考える」と題し、フォーラムの開催を企画いたしました。

本フォーラムは、学術ジャーナルのグローバル化による国際競争力の強化についての講演とオンライン投稿・査読システム「ScholarOne Manuscripts」の有用性のご案内、および学術ジャーナルの編集と出版サイクルにおける各種プラットフォームを紹介することにより、学術ジャーナルの質と価値の向上について考えてまいります。

フォーラムは情報提供の他、情報交換も主な目的としており、質疑応答を通して学術ジャーナルに関する種々なご意見をお聞きする時間ももうけております。

ご多用中恐縮ではございますが、是非ともご来臨賜りますようお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては同封のプログラム、およびパンフレットをご参照のうえ、下記 URL より参加申込みフォームにアクセスし、お申込みください。

参加申込みフォーム

https://ec.sslcenter.jp/kyorinsha/form_forum/input.php

また、第 15 回図書館総合展 展示ブース (10/29 ~ 10/31 開催) にも出展し、弊社が提供する学術に関する様々な商品とサービスをご紹介させていただき所存です。こちらも併せてご来臨いただければ幸甚です。

まずは、略儀ながら書面にてご案内申し上げます。

敬具

第 15 回 図書館総合展 2013 年 10 月 29 日 (火) ~ 31 日 (木) パシフィコ横浜 展示ホール / アネックスホール

フォーラム

日時 2013 年 10 月 29 日 (火) 13:00~14:30

会場 第 7 会場 展示ホール 2 階 (E205 号室) 参加費無料 定員 80 名

ブース出展

日時 2013 年 10 月 29 日 (火) ~ 31 日 (木)

会場 展示ホール D ブース No.75 10:00~18:00

学術ジャーナルの質と 価値の向上を考える

～各種プラットフォームの紹介～

日時 2013年10月29日(火)
13:00～14:30 参加費無料 定員80名

会場 パシフィコ横浜
第7会場 展示ホール2階(E205号室)

第15回図書館総合展において、(株)杏林舎主催によるフォーラム「学術ジャーナルの質と価値の向上を考える」を開催いたします。本フォーラムは2部構成となっております。第1部では学術ジャーナルのグローバル化による国際競争力の強化のために、学術サイクルを通じた学術ジャーナルの質と価値の向上、および各分野トップジャーナルが採用するオンライン投稿・査読システム「ScholarOne Manuscripts™」の有用性について講演を行います。第2部は学術ジャーナルの編集と出版サイクルにおける各種プラットフォームを紹介することにより、学術ジャーナルの質と価値の向上について考えてまいります。

学術ジャーナルの質と価値の向上のために

日本のジャーナルと海外のジャーナルの比較・分析データをもとに、学術ジャーナルの国際競争力・発信力強化のための戦略について考えます。

「ScholarOne Manuscripts™」の活用

「ScholarOne Manuscripts™」はオンライン投稿・査読のための単なる事務作業ツールではなく、ScholarOne™以外の製品や学術ジャーナルに関する他のツールと連携させることで、学術ジャーナルの新たな価値を作り出す戦略的ツールであることを、機能の説明を通して、講演いたします。

学術ジャーナルの編集と出版のサイクルについて

学術ジャーナルにとって理想的な編集と出版とはどのようなものか？
論文投稿から発行・流通までのサイクルを通し、ジャーナルの質と価値の向上という視点で考えます。

クロスメディアに対応した学術ジャーナル制作

PMC (PubMed Central) やJ-STAGE等、様々なオンラインジャーナルプラットフォームで必要となる「XML」。
汎用的な「XML」の制作フローの説明を通し、学術ジャーナルの付加価値の向上について考察します。

オンライン校正進捗管理システムによる効率化

学術ジャーナルの著者校正は不特定多数の著者とのやりとりが必要で、
オンライン校正を実現するためにクリアーにしておかなければならない問題と解決法を検証します。

学術ジャーナル、学術書における電子書籍の有用性

学術ジャーナルの流通において紙媒体(印刷)、インターネット媒体(オンライン)は一般的
ですが、新しい流通媒体として電子書籍を取り上げます。学術ジャーナルや学術書にお
ける電子書籍の有用性を解説いたします。

参加をご希望の方は、弊社Webサイトよりお申し込みください

<http://www.kyorin.co.jp/sem/>

※応募多数の場合は先着順となります。ご容赦いただくとともにお早めのお申し込みをお願い致します。

参加費無料
定員80名

第15回 図書館総合展 2013年10月29日(火)～31日(木)

パシフィコ横浜 展示ホールD/アネックスホール

フォーラム

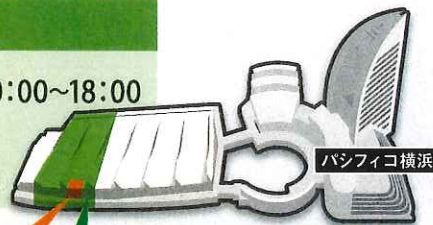
10月29日(火) 13:00~14:30

第7会場 展示ホール2階 (E205号室) **参加費無料 定員80名**

ブース出展

10月29日(火)～31日(木) 10:00~18:00

展示ホールD (1階) ブースNo.75



フォーラム 第7会場展示ホール2階 (E205号室)

ブース出展 展示ホールD ブースNo.75

「学術ジャーナルの編集・出版サイクル」に沿った各種サービス



学術専門電子書籍サービス



学術ジャーナルやガイドライン等を収録した、学術研究者の利用シーンに特化した「学術専門の電子書籍サービス」です。

オンライン投稿・査読システム



世界で5,000誌以上のジャーナル、500以上の学協会が採用されているThomson Reuters社ScholarOne™の国内総代理店として販売・サポートを行っています。



編集事務代行サービス



長年学術論文を取り扱ってきたノウハウを生かし、ScholarOne Manuscripts™を使った査読業務はもちろん、別刷請求、編集委員会の運営等、幅広くサポートします。



専用Online Journal DB構築・運営 各種学術DBへのアップロード

J-STAGEやPubMed等、各種学術データベースの規格に合わせたデータ作成・アップロードはもちろん、専用のOnline Journal DBサイトの構築・運営まで請け負います。



Printing

Online Journalはカラーで、Paper-based Journalはモノクロでといったオーダーから、通常の学術ジャーナル印刷や別刷まで、様々な印刷オーダーに応えます。

オンラインPDF校正 進捗管理システム



「郵送コストの削減」「制作・出版工程の大幅なスピードアップ」はもちろん、学術ジャーナル出版ならではの「著者校正」に強いサービスです。

出版サポートサービス



「著者校正」「別刷」「個別発送」等、学術ジャーナル独特の出版に関する経験や知識をもったスタッフが、入稿から納品までをサポートします。



学術ジャーナル制作

ジャーナル制作

XMLワークフロー

学術ジャーナル独特の文章構造定義やレイアウトなど、通常のコンテンツ制作とは違った経験や知識をもったチームが様々な用途に使えるXMLを制作します。

学術ジャーナル専用の校正

ジャーナルごとに詳細なマニュアル(文献構成・統一事項など)を運用することで質の高い「校正」を実現。また原稿と一致してはOKではなく【疑問出し】なども行っています。

フォーラム開催事務局



株式会社 杏林舎

TEL 03-3910-4311

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10

E-mail forum@kyorin.co.jp

URL http://www.kyorin.co.jp/

10月28日(月) 10:00-12:00 (横浜市中央図書館) 共催:横浜市中央図書館

“政策”と“生活”を変える図書館をめざして —市町村立図書館と県立図書館の役割の違いを通して考える図書館連携の未来

スピーカー: ●渡邊齊志(国立国会図書館関西館) ●坪内 一(横浜市中央図書館) ●都道府県立図書館関係者 [調整中]
プレゼンター: ●野末俊比古(青山学院大学教育人間科学部准教授)
コーディネーター: ●田村俊作(慶應義塾大学教授(図書館・情報学))

10月28日(月) 14:00-16:00 (横浜市中央図書館) 共催:横浜市中央図書館

事例で探る“Google世代”の新しい教育と図書館資源の活用 —教員と学校図書館員が“一緒につくる”授業とは!?

パネラー: ●磯部紀(浦安市立日の出小学校教諭)* ●菊池ひとみ(同学校司書) ●重松靖(国分寺市立第三中学校校長)* ●酒井由美(同主任教諭)*
●田邊ひろみ(同学校図書館司書) ●太田弘(慶應義塾普通部社会科学科教諭) ●庭井史絵(同司書教諭)
●山田英雄(かえつ有明中・高等学校英語科主任・サイエンス科(総合)責任者) ●岡田草子(同図書館司書) *印=ビデオ出演
プレゼンター: ●野末俊比古(青山学院大学教育人間科学部准教授)
コーディネーター: ●桑田てるみ(国士館大学教授)

10月29日(火) 10:00-11:30 (第1会場)

国立国会図書館がこれから歩む道

講師: ●大滝則忠(国立国会図書館長)
聞き手: ●岡本 真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役/プロデューサー)

10月29日(火) 10:00-11:30 (第7会場)

図書館総合展運営協力委員フォーラム —「図書館総合展の地方展開が拓く可能性——これまでとこれから」

講師: ●岡野裕行(皇學館大学文学部国文学科 助教) ●河瀬裕子(くまもと森都心プラザ図書館 副館長) ●嶋田 学(瀬戸内市図書館準備室 室長) ●庄子隆弘(MULU)
司会: ●湯田 勝(獨協大学図書館)

10月29日(火) 13:00-15:00 (展示会場)

首長が語る地方行政の現状と図書館への期待 2 —鯖江市、海士町、恩納村の取り組みに学ぶ

講師: ●牧野百男(福井県 鯖江市長) ●山内道雄(島根県 海士町長) ●志喜屋文康(沖縄県 恩納村長)
司会: ●岡本 真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役/プロデューサー)

10月29日(火) 15:30-17:00 (展示会場) 企画・運営: NPO法人知的資源イニシアティブ (IRI)

Library of the Year 2013 最終選考会 —よい図書館を「よい」と言う

審査員長: ●大串真身(昭和女子大学人間社会学部特任教授)

10月29日(火) 15:30-17:00 (第4会場)

アメリカにおける図書館と図書館司書の変革 —新たに課せられた役割と使命の達成に向けて

講師: ●マイケル・ダウリング(ALAアメリカ図書館協会国際関係部及び支部関係部部長)

10月30日(水) 10:00-11:30 (第1会場)

学術コミュニケーションの動向2013年 —MOOCの出現と学習資源流通構造の変貌

講師: ●土屋 俊(大学評価・学位授与機構教授)

10月30日(水) 10:00-11:30 (第9会場) 共催: 一般財団法人森永エンゼル財団

グレートブックス・ライブラリ・カフェ —図書館は、古典を通じて価値基準を語り合う場

講師: ●渡部昇一(上智大学名誉教授) ●荒井洋一(東京学芸大学教授) ●松田義幸(尚美学園大学学長、森永エンゼル財団理事)
司会: ●大塚潤一郎(実践女子大学教授)

10月30日(水) 10:30-12:00 (展示会場)

“武雄市図書館”を検証する —ニュースとなった〈武雄〉から〈公立図書館界〉がみえてくる

パネリスト: ●橋渡啓祐(佐賀県 武雄市長) ●糸賀雅児(慶應義塾大学文学部教授) ●高橋 聡(カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社プロジェクトリーダー)
コーディネーター: ●湯浅俊彦(立命館大学文学部教授)

10月30日(水) 13:00-14:30 (展示会場) 共催: NPO全国生涯学習まちづくり協会/株式会社図書館流通センター

図書館がまちを変える —まちづくり活動の拠点としての多機能図書館のあり方を考える

シンポジウム: ●原口 泉(志學館大学教授、鹿児島県立図書館館長) ●坪田知広(文部科学省生涯学習政策局社会教育課課長) ●大木 哲(神奈川県大和市市長)
●谷一文字(株式会社図書館流通センター会長)
コーディネーター: ●福留 強(聖徳大学生涯学習研究所長・聖徳大学名誉教授、NPO全国生涯学習まちづくり協会理事長)

10月30日(水) 15:30-17:00 (展示会場)

図書館における公共空間とコワーキング —コワーキングから学ぶ「人が集う場所」のつくり方

講師: ●岡本洋幸(公益財団法人九州経済調査協会事業開発部主任研究員、ピズコリ) ●河村 奨(リプライズプロジェクトマスター)
●山内祐平(東京大学大学院情報学際情報学府)
司会: ●大塚潤一郎(実践女子大学生生活文化学科学科教授)

10月31日(木) 10:00-11:30 (第4会場)

伝統と革新の新図書館 —立教大学池袋図書館開館から1年— —「本気で勉強したくなる図書館」をめざして

講師: ●小野 守(立教大学図書館) ●原田由紀(株式会社日建設計)

10月31日(木) 10:30-12:00 (展示会場)

出版市場としての図書館、読書基盤としての図書館 —出版界と図書館界の本音がぶつかるフォーラム

パネリスト: ●石井 昭(公益財団法人図書館振興財団理事長) ●持谷寿夫(一般社団法人日本書籍出版協会副理事長/株式会社みすず書房社長)
コーディネーター: ●湯浅俊彦(立命館大学文学部教授)

10月31日(木) 13:00-17:00 (展示会場)

本格化する図書館への電子書籍配信サービス —第1部 講演/第2部 パネルディスカッション

パネリスト: ●浅野隆夫(札幌市立中央図書館情報推進担当係長) 他
コーディネーター: ●湯浅俊彦(立命館大学文学部)

10月31日(木) 13:00-14:30 (第4会場) 共催: 専門図書館協議会

「専門図書館」利用してますか? —図書館員でも意外と知らない!? その魅力・実力

講師: ●横盛可那子(東京都立中央図書館サービス部情報サービス課)
●青柳英治(専門図書館協議会 調査分析委員会委員長/明治大学文学部准教授)
●田尻彩子(有限会社モッシュブックス〈玄光社「TOKYO図書館紀行」編集担当))
コーディネーター: ●藤田節子(川村学園女子大学教育学部教授)

10月31日(木) 13:00-14:30 (第6会場)

【東日本大震災】岩手県陸前高田市の現状とこれから必要となること —市立図書館、ちいさいおうち、にじのライブラリーからの報告

講師: ●宮野祥一郎(陸前高田市立図書館館長) ●高橋美知子(NPO法人うれし野こども図書室代表) ●荒木美子(にじのライブラリー現地責任者)
司会: ●鎌倉幸子(公益社団法人ジャンティ国際ボランティア会)

10月31日(木) 15:30-17:00 (第6会場)

岩手県における図書館の被災と県立図書館ができる防災意識啓発 —震災が起こる前にできること、起こった後にやるべきこと

講師: ●平藤達也(岩手県立図書館総務・サービス担当 主査) ●平野 昌(三重県立図書館企画総務課長)
司会: ●鎌倉幸子(公益社団法人ジャンティ国際ボランティア会)

10月31日(木) 15:30-17:00 (第1会場)

続・首都東京の図書館再生計画

講師: ●藤牧功太郎(新宿区中央図書館長)、他
コーディネーター: ●糸賀雅児(慶應義塾大学文学部教授)